

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4079600526
法人名	医療法人 長主病院
事業所名	グループホーム光 ユニット名1階
所在地	福岡県川崎町大字田原1121
自己評価作成日	平成23年11月5日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 アーバン・マトリックス 評価事業部		
所在地	福岡県北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル8階		
訪問調査日	平成23年12月5日	評価結果確定日	平成24年2月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

病院が直結して緊急時すぐに対応でき健康管理、リハビリができます。裏には散歩道があり近くのスーパーやお店に買い物にいきます。窓からは田園風景や四季折々の景色が楽しめます。明るくゆったいとした空間で穏やかに暮らしていただけます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

主要道路に面し、すぐ近くには、スーパーやコンビニエンスストア、ドラッグストア等が並ぶ、利便性が高い周辺環境の中にある。また、ホームの背景には田園風景が広がり、山々の彩の変化を眺めながら、散策を楽しめる環境でもある。隣接して歴史ある母体医療法人が位置し、日常の健康管理や緊急時の迅速な対応が可能であることが、大きな特徴である。医療機関との密な連携を図りながら、あくまでも日常の暮らしの質や、理念とするその人らしさへの支援を重要視していることが、入居者の方々の豊かな表情や、食事風景、職員ヒアリング等からも伝わってくる。ゆとりある広さを持つ、明るく、開放的な生活空間の中で、個別の状況に向き合い、自然体での支援が行われている。

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
58 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	65 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
59 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
60 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
61 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
64 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者職員は、地域と共に その人らしく ゆっくり 笑顔でと理念を掲げミーティング等で話し合い共有している	地域密着型サービスとしての独自の理念は、職員全員が参加する月例ミーティングの中で確認されている。「その人らしさ」につなげるケアの実践について、入居者一人ひとりの理解や尊重、職員個々のアイデアを介護計画作成に結びつける等、実践に取り組んでいる。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の人とは挨拶をしたり気軽に立ち寄れる良い関係が築かれている地域の子供会の餅つき、園児の慰問に日舞ギター演奏健康体操のボランティア等交流している	町内会に加入しており、回覧板が届けられる。近隣スーパーで買い物をする際には、入居者の方も同行し、顔馴染みとなっている。保育園や子供会活動、地域行事への協力を通じて、交流を行っている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	相談にこられる方や見学に来た人などに介護申請や認知症の理解や対応など支援している		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議での意見や状況報告をミーティング等で話し合い向上につなげている	入居者代表(3名)、家族代表(4名)、区長、子供会会長、公民館長、町役場担当者等のメンバー構成にて、定期開催されている。ホームからの状況報告や、地域、行政からの情報提供も行われ、意見交換が行われている。議事録が掲示されている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	役場職員や公民館長、区長家族に推進会議に参加していただいたり取り組みをつたえ、協力関係を築いている	運営推進会議には、町役場職員や公民館長の出席を得ている。また、直接、役場に出向いたり、電話連絡等を通じて、情報共有を図り、アドバイスを受けている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関、部屋に施錠せず開放的にしてあり、出入口にはチャイムがあり職員が常に気を配っている身体拘束しないケアに取り組んでいる	日中は、玄関の施錠や、エレベーターの使用制限は行われていない。また、地域住民や近隣スーパーとの顔なじみの関係が築かれており、協力を得られた事例もある。身体拘束による弊害や個別のリスクについては、家族とも話し合いを行い、日常のケアに取り組んでいる。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	「自分だったら」と考え拘束はしないケアをしている		

福岡県 グループホーム 光

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(6)	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度についてミーティング等で話し合いが必要があれば活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度について、運営推進会議の中で説明を行った実績もあり、必要時には情報提供を行っている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際契約書 重要事項 個人情報の説明を行い理解いただいています。解約の際にも理解納得いただいています		
10	(7)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見、要望、苦情箱を設け意見を取り入れている運営推進会議で意見や要望等いただき運営にか反映させている 運営推進会議議事録はカウンターに表示し閲覧出来る様にしている全体ミーティング等内容を話し合いを行い運営に反映している	多くの家族が参加する行事を開催し、家族との関係性を深めるために、職員は奮闘している。家族の来訪も多く、意見や要望の収集に努めている。運営推進会議の議事録を閲覧可能な状態にしている。	
11	(8)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体ミーティング等で意見や提案を聞き反映させている	法人代表者も出席する全体ミーティングでは、活発な意見交換が行われている。風通しのよい職場環境作りに向けて、職員の主体性や積極的な発言を求めている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の個々の努力や実績を把握し向上心をもって働けるよう努めている		
13	(9)	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用にあたっては性別、年齢を問わず採用している。	職員の採用にあたっては、人柄ややる気を重視し、年齢や性別による排除は行っていない。長期勤務者も多く、ある程度安定している状況である。定期的な勉強会が行われている。	
14	(10)	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権教育についてはミーティングや業務の中で取り組んでいる。相手の立場になり「自分だったらと考え」行動し言葉遣い等、入居者の尊厳を大事にさりげない行動をしている	認知症ケアについての外部研修参加や、内部での勉強会、また、日常の中で振り返る機会も持ちながら、人権尊重への意識を高めている。	

福岡県 グループホーム 光

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修や勉強会に参加し勉強会を实践している		
16		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ネットワーク作りを考えている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の思いや困っていること、不安様要望など聴き受け止め安心してもらえるようつとめている		
18		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の際本人の状況家族の不安等聴き安心していただき良い関係づくりに努めている		
19		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人家族の求めている事支援を見極め対応に努めている		
20		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人と人として尊敬して学ぶ事も多く、一緒に過ごしている		
21		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の協力を得て本人と家族がより良い関係が築けるよう支援している		
22	(11)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出外泊が出来馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援している	家族の協力も得ながら、行きつけの美容院の利用を支援している。これまでの職歴やライフスタイル等を通じた関係性の継続に向けて、旧知の方がボランティアとして訪れ、入居者の方々にお茶をたてていただく機会や、得意なオルガン演奏の披露、馴染みの新聞の購読等を支援している。	

福岡県 グループホーム 光

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
23		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	利用者同士の関係を把握、しトラブルを防ぎ 一人ひとりが孤立しないよう声掛けを行い、 利用者同士仲良く支え合えるようつとめている		
24		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても家族に経過を聞いたり面 会に行ったり相談や支援につとめている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	(12)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	一人一人に希望や意向でその方の意向で 起床時、思いや暮らしを支援している	入居時に、生活暦やライフスタイル等に関する情 報収集を行っている。日常の中で、本人の意向 や希望の把握に努めながら、記録の視点を明確 にすることで、職員間での共有が図られている。	
26		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	アセスメント等で聞き取り生活暦や馴染み の暮らしサービス利用の経過などで把握し ている		
27		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	心身の状態に応じて出来ることはして頂き 洗濯たたみ、配膳等の手伝いをして頂き有 する力の現状に努めている		
28	(13)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	入居者の状態を家族やスタッフの意見を聞 き介護計画を作成している	本人、家族の参加する担当者会議を開催し、介 護計画を作成している。6ヶ月ごとに、モニタリ ング、アセスメントを実施し、計画の見直しにつなげ ている。	
29		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	個人日誌日々のミーティングで話し合い個別 に工夫や実践し介護で威嚇に生かしている		

福岡県 グループホーム 光

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院が直結しているので少しの気づき等でも病院に相談して適切に対応し、状況に応じて柔軟に対応している		
31		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	職員が付き添い出来ることはしていただき楽しく暮らせるよう支援している		
32	(14)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	一ヶ月1回の健康診断いつも病院に相談し医療を受けられるよう支援している	隣接する母体医療機関との連携が密に図られており、入居の動機や安心感となっている。また、希望や必要に応じた、その他の医療機関への受診を支援している。ホームと医療機関との距離が近く、緊急時にも迅速な対応を行うことができる。	
33		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	病院が直結しているので少しの気づき等でも病院に相談して適切な受診や介護を受けられるように支援している		
34		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際、病院関係者と情報交換しながら早期に退院出来るよう努めている。		
35	(15)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	人権教育についてはミーティングや業務の中で取り組んでいる。相手の立場になり「自分だったらと考え」行動し言葉遣い等、入居者の尊厳を大事にさりげない行動をしている	重要事項説明書の中に、重度化した場合における対応に係る指針を示し、説明を行い同意を得ている。運営推進会議の中で、終末期に向けた本人、家族の意向について確認を行い、今後の方針について話し合いを行っている。	
36		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	病院が直結しているので病院から医者・看護婦が来て応急手当を行うが訓練も行っている		

福岡県 グループホーム 光

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	(16)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を行い地域との協力体制を築いている	隣接する母体医療機関との合同訓練となり、年1、2回の避難訓練を実施している。	隣接する医療機関との即時の連携が可能であり、災害時の対応についても心強い。今後は、夜間帯を想定した連携確認や、地域との協力体制の確認等への取り組みに期待します。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	(17)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの自尊心プライバシーを損ねることのない言葉やさりげない対応で他の人にわからないよう対応している	管理者は、常に「自分ならどう感じるか」と職員に問いかけ、日常の声かけや対応について、振り返る機会を持っている。排泄ケアへの対応については、特にプライドや羞恥心への配慮を心がけている。	
39		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望食べたいもの等聴き自己決定が出来る様働きかけている		
40		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者中心が基本で一人一人のペースを大切に起きる時間などその人に合わせて強制せず穏やかに過ごせる様支援している		
41		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	近くの美容院から出張に来て頂き、身だしなみは職員が支援して綺麗にしている		
42	(18)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の物や食べたい物好きな物を献立に取り入れ献立に取り入れている	朝・昼食はホームでの調理となり、夕食は法人厨房より提供されている。季節感や嗜好に配慮された献立が作成され、個別の状況に応じて、できる限り形を残した食事が提供できるよう、細やかな配慮が行われている。手作りおやつや干し柿作り、また、弁当を持って外出することもあり、その際には弁当作りから入居者に参加してもらう等、「食」のプロセスを楽しんでいる。	
43		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事量、水分摂取量を記録にとり状況に応じ支援している		

福岡県 グループホーム 光

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝夕の口腔ケアや食後の口腔ケアー義歯洗浄行っている		
45	(19)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の記録から排泄パターンを把握し、トイレの声掛けや誘導をおこなっている	排泄記録により、日々の状況を共有している。入居時には医療的なケアが必要であった方も、医師との連携や意見交換を密にし、現在、トイレでの排泄が可能となる等、排泄の自立に向けた支援が行われている。	
46		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録などから排泄パターンを把握し飲食物や運動の働きかけたり対応している		
47	(20)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一応決まっているが本人の希望や状況に応じ支援している	週3回の基本的な入浴スケジュールは設定しているが、毎日のように入浴準備を行っているため、その日の希望や状況にあわせた、柔軟な対応を行うことができる	
48		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の要望に、状況に応じ休息をとったり、夜間は安心して眠れるよう支援している		
49		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の服薬簿を作り変化の確認に努めている		
50		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の配膳や片づけ洗濯物たたみ等の手伝い菜園、レクレーションや行事の参加、買い物等気分転換を支援している		

福岡県 グループホーム 光

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51	(21)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個人の希望も取り入れドライブ、買い物等でかけるよう支援している。	ホームの裏手には、田園風景の中に車の通行しない畦道もあり、散歩道として活用されている。また、スーパーやコンビニエンスストア等、買い物の利便性も高く、食材や日用品の買い物に、入居者とともに出掛けている。	
52		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に行った時など職員がさりげなく声をかけをし自分で支払えるよう支援している		
53		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が掛けたい時に介助してかけている。手紙もやり取りができるように支援している		
54	(22)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節の花を飾り壁には入居者の作った季節の貼り絵やカレンダーなど飾っています	玄関の開口部にはガラス面が多用され、明るく、ゆとりある広さの玄関ホールやリビングスペースの開放感を、更に印象付けている。ソファの設置や、障子の施された和室スペースには掘り炬燵も設けられ、くつろぎの場所も多い。	
55		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	掘りごたつやソファテレビ等があり居心地よく過ごせる様に工夫している		
56	(23)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室は慣れ親しんだ物を置き、本居心地よく過ごせる様している	各居室には、洗面台とクローゼットが設置されている。箆箆や仏壇、テレビ等が持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。	
57		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、浴屋、廊下には手摺りがあり自立した安全な生活が送れるよう工夫している		